

田川議員（公明党）

令和5年2月10日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）高等特別支援学校の設置について

今後、知的障害のある生徒の雇用数を拡大するためには、より実践的で専門的な職業教育を行う高等特別支援学校を早く設置していく必要があると考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

高等特別支援学校は、就職に向けた作業を中心とした学習や企業などでの実習の実施など、職業教育に重点を置いた指導を行い、就職に必要な力を身に付けることを目的とした学校であると認識しております。

本県におきましては、普通科職業コースを設置して、高等特別支援学校と同様に職業教育の手法を取り入れ、企業と連携した作業を中心とする授業づくりや就職に必要な技能を高めるための施設の改修など、職業教育の充実を図ってまいりました。

この職業コースにおける、卒業生の就職率は、設置以降の平均で9割を超えております。

また、その取組が職業コース以外の学級や他の特別支援学校にも好影響を及ぼし、県内特別支援学校全体の就職率は、直近5年間の平均が、全国の31.3パーセントに対し、本県では35.9パーセントとなっております。

県教育委員会といたしましては、障害のある生徒の自立や社会参加に向け、引き続き、高等特別支援学校の取組を含めた様々な手法等を研究し、職業教育の一層の充実を図ってまいります。